

# ちば 県議会だより

NO. 137

党派別議員数

自民党	56人
民主党	16人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
みんなの党	3人
千葉維新の会・県民の声	2人
無所属の会	1人
開拓	1人
生活	1人

定数95人 現員95人  
(平成25年1月10日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

## 代表質問

※質問項目は、主な項目を掲載しています。  
その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

## 12月定例県議会のあらまし



公明党  
藤井 弘之 議員  
(松戸市)

- ▼ 鉄道交通アクセス
- ▼ 国土地理院との協定
- ▼ 災害拠点病院
- ▼ がん対策
- ▼ BSE問題
- ▼ 公契約条例

十一月二十八日(水)



民主党  
天野 行雄 議員  
(千葉市稲毛区)

- ▼ 千葉県総合計画の進行管理と財政問題
- ▼ 成田空港の整備と国際航空物流
- ▼ 医師・看護師の確保と中期推計
- ▼ 雇用・労働行政への取り組みと地方分権
- ▼ 観光立県ちばの振興とサイクルツーリズムの推進
- ▼ 県内スポーツの振興



自民党  
白井 正一 議員  
(千葉市美浜区)

- ▼ 財政問題
- ▼ 私学助成の成果と今後の取り組み
- ▼ 防災対策
- ▼ 放射性物質対策
- ▼ 医療福祉問題
- ▼ 最近の日中関係の悪化に伴う県内経済への影響

十一月二十七日(火)

十二月定例県議会は、十一月二十日に招集され、十二月十一日までの二十二日間にわたり開催されました。開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十四年度千葉県一般会計補正予算等の議案三十件、報告二件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

その後、選挙関係の補正予算案、一議案が先議となり、付託された議案について審査するため、総務防災常任委員会が開催され、再開された本会議において、総務防災常任委員会委員長の審査結果報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決されました。

十一月二十七日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十五名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、経済問題、環境問題、児童虐待、福祉対策、雇用問題等について活発な議論が展開

されました。

各常任委員会は、十二月六日に開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、平成二十三年決算は認定されました。

続いて、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

また、知事から人事案件二件が追加上程され、採決の結果、原案のとおり同意されました。

その後、上程された議員発議案(意見書)について、十七件のうち七件を可決し、今定例県議会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

## 「決算審査特別委員会」を開催



9月定例県議会において決算審査特別委員会が設置され、平成23年度千葉県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について審査するため、10月から11月まで9回にわたり委員会が開催されました。

## 県議会傍聴のご案内

議事を傍聴してみませんか。  
本会議及び各種委員会は、開催当日の簡単な手続で傍聴することができます。

詳しくは県議会ホームページをご覧ください。議会事務局(043-223-2509)へお問い合わせください。  
※傍聴者多数の場合、ご入場いただけないことがあります。

## 千葉県議会ホームページ

千葉県議会ホームページで動画配信中  
その他、県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

### 主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ○傍聴
- インターネット中継(ライブ・録画)  
本会議及び予算委員会(直近2年分視聴可)
- 会議録検索 ○会議の概要
- 議会図書室の利用案内



〈ホームページアドレス〉  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>  
または、検索サイトで  
千葉県議会 を 検索 してください。

## 県内小学生が議場を見学



【茂原市立萩原小学校4年生のみなさん】

社会科校外学習として、県内の小学生が議場に来てくれました。広い議場に歓声があがりました。

議場見学は、県庁見学の行程の中に入っています。

見学のお申込み、お問い合わせは、県報道広報課広聴室(043-223-2246)へお願いします。詳しくは、千葉県ホームページの「千葉県庁見学のご案内」をご覧ください。



# 代表質問から



## 財政

**問** 平成二十五年度の収支見通しをどのように見込んでいるのか。

**答** 平成二十五年度当初予算は骨格予算として編成するが、現時点では、歳入において、県税及び実質的な地方交付税を二十四年度当初予算と同額程度確保できても、歳出において、社会保障費や公債費など、義務的経費が大幅に増加することから、四百三十億円程度の財源不足が見込まれる。

**問** そのため、事務事業の二層の見直しを行うとともに、財政調整基金などの活用や、退職手当債などの特例的な地方債の発行などにより財源を確保していきたい。

**答** 大規模災害時における県外からの広域応援を、迅速かつ柔軟に受け入れるため、県では「防災支援ネットワーク基本構想」を策定し、学識経験者、支援機関や医療機関の関係者などを構成員とする「防災支援ネットワーク検討会議」を設置した。

**問** 成田空港への県内からの公共交通アクセスの現状をどのように認識しているのか。

**答** 成田空港への県内からの公共交通アクセスについては、京成・成田スカイアクセス線の開業に加え、LCCの就航に合わせ新たな高速バス路線の運行が始まるなど、利便性は向上していることを認識している。

## 防災支援ネットワーク

**問** 「防災支援ネットワーク基本構想」が示されたが、その後の検討状況はどうか。

**答** 大規模災害時における県外からの広域応援を、迅速かつ柔軟に受け入れるため、県では「防災支援ネットワーク基本構想」を策定し、学識経験者、支援機関や医療機関の関係者などを構成員とする「防災支援ネットワーク検討会議」を設置した。

**問** 平成二十四年度は、検討会議において、専門的な意見を得るとともに、市町村等との意見交換を行い、救援部隊や救援物資の保管などのために必要な面積や、広域防災拠点に適する施設について、整理していく。

**答** その後、施設管理者等の承認を得て広域防災拠点を確定するとともに、基本構想で定めた七つのゾーンの支援能力を評価することにより、防災支援ネットワークの機能強化策を平成二十五年度までに検討していく。

## 帰宅困難者対策

**問** 帰宅困難者対策での千葉県と国土交通省、首都圏各都県との情報共有化を図るべきと思うがどうか。

**答** 帰宅困難者対策の基本原則である「むやみに移動を開始しない」という行動ルールの実践や、安全な帰宅のためには、国や都県などの関係機関が連携し、帰宅困難者に対する情報提供体制の整備に取り組んでいくことが重要である。

**問** 本県も参加する首都直下地震帰宅困難者等対策協議会の最終報告では、危険回避のための情報など、必要な情報を関係機関が共有し帰宅困難者に提供していくこととされた。また、九都県市首脳会議においても、徒歩帰宅支援のための情報をリーフレットやホームページなどを活用し、共同で提供している。

**答** 帰宅困難者が、むやみに移動を開始しないため、また、安全に帰宅するために必要となる情報を、適切な段階で提供できるよう、引き続き国や九都県市と連携して対策を進めていく。

## 福祉避難所

**問** 市町村における福祉避難所の指定状況はどうか。

**答** 県内では、平成二十四年九月三十日現在、二十市町村で高齢者・障害者施設を中心として指定されており、平成二十三年に比べ、市町村数で七、箇所数で百九十四増加している。地域防災計画の見直しとあわせて指定を行う予定の市町も多数あることから、今後、福祉避難所の指定数の増加が見込まれる。

**問** 県では、「災害時における避難所運営の手引き」を作成し、福祉避難所の指定に関する考え方を市町村へ示しているところであり、今後とも、指定が推進されるよう積極的に働きかけていく。

**答** 現在、県では、平成二十五年度から始まる新たな「千葉県がん対策推進計画」の策定を進めており、これまでに開催したがん検診、がん医療、在宅がん緩和ケアの専門委員会での、現計画推進の成果と課題を踏まえた対策に加え、国の基本計画において新たに追加され、「千葉県がん対策推進条例案」でも示されているがん教育や小児がん対策なども、盛り込む方向で議論が進められており、平成二十四年度末を目途に策定する予定である。

## がん対策

**問** 県として、今後、がん対策をどのように充実させていくのか。

**答** 現在、県では、平成二十五年度から始まる新たな「千葉県がん対策推進計画」の策定を進めており、これまでに開催したがん検診、がん医療、在宅がん緩和ケアの専門委員会での、現計画推進の成果と課題を踏まえた対策に加え、国の基本計画において新たに追加され、「千葉県がん対策推進条例案」でも示されているがん教育や小児がん対策なども、盛り込む方向で議論が進められており、平成二十四年度末を目途に策定する予定である。

## 新エネルギー

**問** 新エネルギーの導入促進のためには、事業者や家庭など民間の取り組みを積極的に引き出すような県の支援が重要と考えられるがどうか。

**答** 民間による新エネルギー導入を進めるためには、県の支援が重要と考えており、これまで事業者に対する相談や情報提供、国の基金を活用した補助などを通じ、事業展開を支援してきた。

**問** また、家庭への導入については、平成二十三年度から住宅用太陽光発電設備への補助を開始し、平成二十四年度は補助の予算額を大幅に拡充するなどの支援をしてきた。

**答** 今後も、民間の創意工夫ある取り組みが二層進むよう、県民や事業者、市町村のニーズを踏まえ、必要な支援をしていきたい。

## 日中関係

**問** 最近の日中関係の影響を踏まえ、県では、県内中小企業への支援についてどのように考えているのか。

**答** 今後、中国に偏ることなく東南アジアなどの親地的な地域において、観光客の誘致や販路拡大に関する県の積極的な支援を期待する声も多く、県では千葉銀行と国際ビジネスに関する連携協定を締結するなど、積極的に現地情報の収集に努めるとともに、知事トップセールスを含め、アジアの新興国を中心に、観光客の誘致や海外販路の拡大について支援を行ってきた。

## 観光立県ちば

**問** ちばアクアラインマラソンの成果を踏まえ、このようなスポーツイベント等の開催を観光振興につなげていくべきと思うがどうか。

**答** 「ちばアクアラインマラソン」では、約二万四千人ものランナーを、約三十二万人の沿道の応援者や多くのボランティアが支えるなど、本県のスポーツ観光の新たな方向性が示されたと考えている。

**問** 千葉県は、三方を海に囲まれ温暖な気候に恵まれるとともに、平坦な地形が多いことから、「館山若潮マラソン」をはじめ、「ツール・ド・ちば」や白子町のテニスなど、さまざまなスポーツが盛んに行われ、さらに、富津公園と昭和の森はランニングコースとして観光庁の認定を受けている。

**答** 県では、これらスポーツを支える地域の人々のおもてなしの心を、景観や食、文化などと同様に本県の観光資源の一つとして捉え、より一層、本県観光の魅力アップにつなげるよう努力していく。

## 人材育成

**問** 県として、グローバル人材の育成にどう取り組んでいるのか。

**答** 児童・生徒が国際的に活躍できる人材として成長するためには、豊かな語学力、コミュニケーション能力、チャレンジ精神、日本人としてのアイデンティティ等を育むことが大切である。

**問** そこで、平成二十四年度から「グローバル人材プロジェクト事業」を実施し、留学に要する経費を助成するとともに、高校生の英語によるコミュニケーション能力育成に向けた効果的指導方法等の研究と、教員への研究成果の普及などに取り組んでいる。

**答** 県教育委員会としては、国際社会で活躍できる人材の育成に、引き続き努めていく。

## 農業用水

**問** 今後、農業用排水施設の

また、中小企業の海外展開を技術的に支援するため、本県を含む一都四県で「広域首都圏輸出品技術支援センター」を開設し、相談体制の拡充を図った。今後も、適宜、関係機関と連携し、県内中小企業の海外展開ニーズに即した情報提供や支援策の検討を進めていく。

**問** 用排水施設の老朽化対策においては、長寿命化により事業費の縮減や平準化を図りながら、計画的に対策を講じていくことが重要と考えている。

**答** そこで、日常管理と定期的な整備を徹底するとともに、耐用年数を超えた施設については、老朽化や機能低下の調査を実施し、将来の維持管理費が最小になるよう、最適な機能保全対策を、緊急度・重要度に応じて、順次、実施していく。

**問** 用排水施設は、本県の農業生産を支える生命線であるため、県としては、老朽化対策に積極的に取り組む、本県農業のさらなる発展に努めていく。

**問** 今後、農業用排水施設の

引き続き努めていく。

このステッカーが貼られているところでは、災害発生時水道水やトイレ、情報の提供を受けることができます



コンビニ等



ガソリンスタンド



# 各常任委員会の 主な質疑から

## 総務防災常任委員会

**問** 備蓄に関する計画において、県は、被災市町村向けの物資として、具体的にどのようなものを備蓄するのか。

**答** また、備蓄の品目を選定する上で、災害時要援護者や女性に配慮しているのか。

**問** 市町村の備蓄物資を補完するため、発災直後の生命維持や生活に最低限必要な食料、飲料水、毛布、簡易トイレなどを、また、災害時要援護者向けの食料や乳幼児用・成人用の紙おむつ、生理用品についても備蓄する予定である。

## 総合企画水道常任委員会

**問** 羽田空港の騒音問題について、千葉市上空における、南風好天時の高度引き上げの試行結果はどうか。

**答** また、一刻も早い本格運用の実施を国に働きかけてもらいたいと思うがどうか。

**問** 国土交通省からは、試行において大きな支障はなく終了したが現在、さらに安全面の詳細な検証作業を行っていると聞いている。県では、早期の本格運用の実施に向け、今後とも、連絡協議会などを通じて、引き続き国に働きかけていきたい。

## 健康福祉常任委員会

**問** 通所介護事業所における宿

泊サービスのあり方研究会の今後のスケジュールと、県の対応方針はどうか。

**答** 県では、今後、研究会を二カ月に一回程度開催し、平成二十五年春頃にガイドラインの素案を作成し、パブリックコメントの意見を反映した上で、夏頃に決定したいと考えている。

## 環境生活警察常任委員会

**問** 消費生活相談において、高齢者からの相談が多く、また、若者のインターネットトラブルが増えているが、今後、どのような取り組みを行っていくのか。

**答** 十二月から実施している「消費生活被害対策キャンペーン」を通じ、相談窓口の周知、家族や地域による見守りの促進を図る。また、若者の適切なインターネットの利用を促進するためのDVDを作成し、全ての中学・高校に配布することとしている。

## 商工労働企業常任委員会

**問** 関西地区の企業誘致のための企業誘致開拓員について、その採用と活動状況はどうか。

**答** 企業誘致開拓員については、十月上旬に公募し、審査委員会を経て一名を採用した。

## 農林水産常任委員会

**問** 第二次食育推進計画は、平成二十四年度内に計画を策定し公表していくとのことだが、第一

次計画の実績をどのように総括しているのか。

**答** また、県として、市町村計画の策定をどのように進めていくのか。

**問** 第一次食育推進計画では、市町村や関係団体等と協力し、地域や学校における食育を推進してきたが、県民の食育への関心は高いもの、実践において一層の推進が必要な状況と認識している。

**答** 二次計画では、一次計画で作ってきた食育ボランティアなどの制度を活用し、食育の実践に結びつく取り組みを展開していきたい。

## 県土整備常任委員会

**問** 先日の中央自動車道笹子トンネルにおける崩落事故に関連し、県が管理するトンネルは何か所で、そのうち老朽化が進んでいるトンネルは何か所あるのか。

**答** また、点検はどのように実施しているのか。

## 文教常任委員会

**問** 市町村が実施した通学路における緊急合同点検の状況を国に報告するようになったが、

本県の状況はどうか。

**答** 国へ提出する期限が、十二月中旬であり、現在、集約中である。また、通学路の安全対策会議を、県警、県土整備部などと合同で三回開催し、情報を共有するとともに、十一月には県内市町村教育委員会の担当者を集め、安全対策の促進について改めて依頼をしたところである。

## 可決・同意された議案

- ◆平成二十四年度補正予算関係(四件)
  - ▽一般会計(二件)
  - ▽特別会計(二件)
- ◆条例の制定(十二件)
  - ▽住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例
  - ▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例
  - ▽児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

- ▽児童福祉法に基づく指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスに関する基準を定める条例
- ▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例

- ◆条例の一部改正(五件)
  - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
  - ▽千葉県県税条例
  - ▽千葉県小規模水道条例
  - ▽千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例
  - ▽千葉県県営住宅設置管理条例
  - ◆条例の整備(一件)
    - ▽大網白里町を市とすることに伴う関係条例の整備に関する条例
  - ◆その他(十件)
    - ▽契約の締結(四件)
    - ▽財産の処分
    - ▽損害賠償の額の決定及び和解

- ▽当せん金付証票の発売
  - ▽指定管理者の指定
  - ▽教育委員会委員の任命(二件)
- ## 可決された意見書
- ▽患者数が特に少ない希少疾病用医薬品(ウルトラ・オーファンドラッグ)の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書
  - ▽東京湾臨海部の液化化対策に向けて地質調査の強化を求める意見書
  - ▽復興予算の適正な執行に関する意見書
  - ▽メタンハイドレートの実用化を求める意見書
  - ▽防災・減災体制再構築推進基本法(防災・減災ニューディール基本法)の制定を求める意見書
  - ▽地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書
  - ▽放射性物質を含むブルーム通過時において、放射能被曝を避けるための具体的防護措置の明確化を求める意見書

## 「予算委員会」の設置

2月定例県議会において、県の新年度予算及び関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

## ■予算委員会委員名簿

自 民 党	山 登 〇 鈴 木 昌 俊 石 吉 本 正 充 皆 白 井 光 一 中 今 秋 山 幹 章 今 鶴 林 本 義 一 鶴 山 中 裕 裕 實 川 隆 隆 坂 下 しげき
民 主 党	湯 浅 和 子 堅 太 郎 磯 部 裕 治 肇 史
公 明 党	塚 定 良 英 雄
共 産 党	加 藤 英 政 夫
市民ネット・社民・無所属	ふじしろ 政 浩
みんなの党	松 戸 隆 政 浩
千葉維新の会・県民の声	佐 藤 憲 一
無 所 属 の 会	西 尾 憲 毅
開 拓 生 活	花 崎 広 忠 夫 大 川 夫

◎委員長 ○副委員長

## 平成25年2月定例県議会 会期及び議事・委員会日程

月 日	議事・委員会日程	開議時間
1月24日(木)	開会 知事提案理由説明	午前10時
30日(水)	質疑並びに一般質問	//
31日(木)	//	//
2月 1日(金)	//	//
4日(月)	//	//
5日(火)	//	//
6日(水)	//	//
8日(金)	予算委員会	午前10時30分
12日(火)	//	//
13日(水)	//	//
14日(木)	常任委員会(総務防災・総合企画水道)	午前10時
15日(金)	// (健康福祉・環境生活警察)	//
18日(月)	// (商工労働企業・農林水産)	//
19日(火)	// (県土整備・文教)	//
22日(金)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時



ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

十月二十八日(水)



共産党 丸山 慎一 議員 (船橋市)

- 第九号など憲法に対する基本姿勢
- 放射性廃棄物の処理
- いじめ問題
- 千葉県中小企業振興条例



開拓 花崎 広毅 議員 (我孫子市)

- 財政問題・行政改革
- 経済・雇用問題
- 教育問題
- 焼却灰一時保管問題



自民党 村上 純丈 議員 (習志野市)

- 千葉県液化化等被害住宅再建支援事業
- 地域防災力の向上
- 発達障害児への支援
- ことも急病電話相談事業

十月二十九日(木)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

- 東京湾漁業の振興
- 母子寡婦福祉資金
- 原木シイタケの出荷制限
- 浜金谷港の整備



民主党 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

- 埋立地の液化化調査の強化
- 放射能拡散シミュレーションを活用した原子力災害対策の推進
- 幕張ベイタウンから海浜幕張駅へのアクセス
- 夜遅い塾帰りの子どもの防犯対策



自民党 石橋 清孝 議員 (東金市)

- 県議会の海外交流
- 植木類の輸出
- 三次救命救急センターを運営している病院への支援
- 成田空港を生かす道路整備



千葉維新の会・県民の声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

- 警察におけるAEDの設置
- 九十九里浜の侵食対策
- アイザックス症候群の罹患者の救済
- 利根川水系の水質管理体制



自民党 内田 悦嗣 議員 (浦安市)

- 震災対策
- がん対策
- 障害者スポーツの振興
- 行政改革

十月三十日(金)



自民党 滝田 敏幸 議員 (印西市)

- 指定廃棄物



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

- 消防学校
- 北総鉄道
- 道路問題
- ドクターヘリ
- アクティブ・シニア・チーパス
- 事業
- 自転車の無灯火取り締まり対策
- 行徳橋



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

- 液化天然ガスの安全供給
- 観光の風評被害
- 農業問題
- いじめ問題



千葉維新の会・県民の声 佐藤 浩 議員 (船橋市)

- 東葉高速沿線開発
- いじめ問題と警察との連携
- いじめ問題と学区
- 教育行政に民意を入れること



自民党 服部 友則 議員 (八千代市)

- 東葉高速鉄道
- 高齢者対策
- 道路問題
- 教育問題

十一月二日(月)



市民ネット・社民・無所属 入江 晶子 議員 (佐倉市)

- 原発事故子ども被災者支援法への対応

- 児童虐待
- 生活保護制度
- ダム問題



自民党 秋山 光章 議員 (館山市)

- 安房地域における雇用問題
- 県有施設
- 地方自治法施行六十周年記念貨幣の発行
- 伝統工芸品の後継者育成



自民党 関 政幸 議員 (千葉市緑区)

- いじめ問題
- 町内会・自治会のトラブル

- がん対策
- 子育て応援！チーパス事業



民主党 中田 学 議員 (柏市)

- 「道の駅」の防災拠点化
- 学校施設といじめ問題
- 柏警察署の二分署化
- 保育所の運営と障害者雇用



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

- すべての人が安心して暮らせるまちづくり
- 災害・事故に強いまちづくり
- 生活環境の整備

水道行政



自民党 伊藤 昌弘 議員 (佐倉市)

- 印旛沼の水質浄化
- 印旛沼と周辺における特定外来生物の駆除
- コメの新品種の開発
- 道路問題



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

- (仮称)新流山橋と新川南流山線子どもへの放射能の影響

- 学力向上教育
- 生涯大学校



民主党 矢崎 堅太郎 議員 (浦安市)

- 浦安の都市整備
- 再生可能エネルギー
- 住宅政策
- 三番瀬



自民党 林 幹人 議員 (成田市)

- 成田空港
- 脱法ハーブなどの違法ドラッグ
- 防犯対策

12月定例県議会 知事あいさつ

新卒未就職者などの早期就職支援事業を今年度中に開始するための補正予算を計上

平成24年度補正予算案の主なものとしては、

- 千葉県生涯大学の指定管理を行うにあたり、年度内に管理運営協定を締結するため、また、引き続き厳しい雇用情勢に対応し、新卒の未就職者などの早期就職を支援する事業などを今年度中に開始するための債務負担行為の追加
- 妙典橋新設事業の全体工程を見直し、平成27年度外環道開通に合わせるため債務負担行為を変更
- 県営用排水改良事業など、年度内に終了しないことが判明した事業について、適正な工期を確保するための繰越明許費の設定

などがあります。



県では、現在、県有地2カ所と県有施設1カ所において、メガソーラーや小水力発電施設を設置・運営する事業者を募集するなど、民間プロジェクトを支援しているところだ。

新エネルギーの導入の促進は、エネルギー源の多様化や環境負荷の低減のみならず、地域経済の活性化にも大きく寄与すると考えています。

今後とも、民間事業者に対する支援とともに、地域による特色ある取り組みを促進することにより、本県の新エネルギー施策の推進を図っていきます。

最後に、「観光キャンペーン」について申し上げます。

平成25年1月から、「元気あげます！春の房総」をキャッチコピーに、早春の観光キャンペーンを開催します。

ひと足早い春の房総を彩る、ストックやスイセン、菜の花などの色鮮やかな花々や、新鮮な海の幸・山の幸、イチゴ狩りなど、春の香りと味覚を全国にアピールするとともに、首都圏における産直市や、観光プロモーションも実施し、観光客の誘致を積極的に行っていきます。

さらに、2月9日から11日までの3日間、JR東日本の企画により、佐原・銚子間で「SLおいでよ銚子号」が走行します。成田線を44年ぶりに走るSLの姿は、鉄道ファンのみならず、多くの観光客に楽しんでいただけるものと考えています。

今後とも、観光キャンペーンを積極的に展開し、本県の豊かな自然や観光資源、新鮮でおいしい農林水産物などをPRし、東日本大震災により減少した観光客の一層の回復に向けて全力で取り組んでいきます。

その他、条例の制定についてなど、議案の概要説明がありました。

「ちばアクアラインマラソン」について報告します。

大会当日は、心配された風の影響もなく、さわやかな秋晴れの中、県内外から参加された約1万4千人のランナーが、東京湾アクアラインをはじめとする千葉の魅力満載のコースを走りました。

ランナーの皆様には、日本で初めて、海の上の高速道路を走るマラソンとして、普段味わうことのできない東京湾の大パノラマや房総の山々を一望し、千葉のすばらしさを十分に満喫していただけたと思います。

開催にあたり、地元木更津市、袖ヶ浦市の皆様をはじめ、関係各位のご理解、ご協力をいただき、改めて心からお礼申し上げます。

テレビ、ラジオ、新聞などでは、アクアラインをランナーが走る圧巻の映像や、沿道での切れ目ない応援の姿に加え、献身的なボランティアの活動などが大きく取り上げられ、千葉の魅力や県民のおもてなしの心を広く県内外に発信することができました。

アクアラインマラソンによる本県への注目をさらに高めるため、千葉の魅力を全国へ、世界へ発信していきます。

次に、「新エネルギーの導入促進」について申し上げます。

平成24年7月から、電力会社に再生可能エネルギーの購入を義務付ける、固定価格買取制度が開始され、県内でも、市原市と佐倉市で、一般家庭の600世帯分の年間電力消費量に相当する、2メガワット規模のメガソーラーが相次いで稼働しました。

また、10月末には、我が国初となる本格的な洋上風力発電設備が、銚子市沖合に完成し、平成25年には実用化に向けた実証実験が開始されるなど、新エネルギーに関する事業活動が活発化しています。